

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	網走港における港湾利用の効率性・安全性の向上															
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当					
交付対象	網走市															
計画の目標	老朽化した施設の機能維持・延命を目的とした改良を行い、港湾利用の効率性・安全性の向上を図る。															
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		255	A	255	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H28当初）	（H30末）	（H32末）
1	老朽化により港湾施設利用の安全性が低下し、施設利用に支障が生じているため、係留施設の改良により、荷役の効率性・安全性の向上を図る。 老朽化により機能が低下し、改良が必要な係留施設の危険個所を解消した延長が全体に占める割合を算出する。 （係留施設の危険個所の解消率）＝（改良実施係留施設延長/改良されていない係留施設の延長）	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	A02-001	港湾	北海道	網走市	直接	網走市	重要	改良	新港地区第4ふ頭岸壁改良	舗装工、上部工、付属工、L=425m	網走港新港地区	■	■	■	■	■	246		策定済
	A02-002	港湾	北海道	網走市	直接	網走市	重要	改良	新港地区SOLASふ頭改良	SOLAS監視装置改良	網走港新港地区			■			9		未策定
											小計						255		
											合計						255		

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
網走市役所建設港湾部内で実施	事業終了後、令和7年10月
	公表の方法
	網走市ホームページ
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	老朽化により港湾施設利用の安全性が低下し、施設利用に支障が生じていたが、係留施設の改良により、荷役の効率性・安全性が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	（係留施設の危険個所の解消率）＝（改良実施係留施設延長/改良されていない係留施設の延長）		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	